

予算委員会

委員一覧（45名）

委員長	岸	宏一（自民）	佐藤	正久（自民）	藤田	幸久（民主）
理事	石井	準一（自民）	島村	大（自民）	水岡	俊一（民主）
理事	岡田	広（自民）	高野	光二郎（自民）	蓮	舩（民主）
理事	古賀	友一郎（自民）	堂故	茂（自民）	長沢	広明（公明）
理事	馬場	成志（自民）	中西	祐介（自民）	矢倉	克夫（公明）
理事	堀井	巖（自民）	二之湯	武史（自民）	横山	信一（公明）
理事	小川	敏夫（民主）	三木	亨（自民）	片山	虎之助（維新）
理事	那谷屋	正義（民主）	三原	じゅん子（自民）	小池	晃（共産）
理事	若松	謙維（公明）	三宅	伸吾（自民）	大門	実紀史（共産）
理事	小野	次郎（維新）	山下	雄平（自民）	井上	義行（元気）
	石田	昌宏（自民）	大久保	勉（民主）	山田	太郎（元気）
	猪口	邦子（自民）	大塚	耕平（民主）	和田	政宗（次代）
	大野	泰正（自民）	小西	洋之（民主）	薬師寺	みちよ（無ク）
	太田	房江（自民）	田城	郁（民主）	福島	みずほ（社民）
	北村	経夫（自民）	田中	直紀（民主）	平野	達男（改革）

(27. 1. 28 現在)

（1）審議概観

第189回国会において、本委員会に付託された案件は、平成二十六年補正予算3案、平成二十七年度総予算3案及び平成二十七年度暫定予算3案であり、いずれも可決された。

なお、本委員会に付託された請願はなかった。

〔予算の審査〕

平成二十六年補正予算 平成二十六年補正予算3案は、1月26日に提出され、2月3日に成立した。

委員会では、1月28日、財務大臣から趣旨説明を聴取し、衆議院からの送付の後、2月2日から質疑に入り、翌3日、討論及び採決の結果、可決された。

委員会の質疑においては、経済対策及び補正予算の緊要性及び必要性、地方活性化における新型交付金の効果、集中復

興期間終了後の財政上の対応、消費税の軽減税率導入が税収へ与える影響、平成27年度以降における社会保障財源の見通し、経済成長と格差の関係性、貧困対策の必要性、戦後70年の総理大臣談話に向けた基本姿勢、人口の将来推計と少子化対策の在り方、指導的立場に占める女性の割合向上に向けた取組、安全保障法制の在り方、労働者派遣法及び労働時間規制の見直しの是非、シリアにおける邦人拘束事案の経緯と対応等の問題が取り上げられた。

平成二十七年度総予算 平成二十七年度総予算3案は、2月12日に提出され、4月9日に成立した。

委員会では、2月18日、財務大臣から趣旨説明を聴取し、衆議院から送付の後、3月16日から質疑に入り、20日には外交・

安全保障等に関する集中審議を、27日には経済・財政・国際問題に関する集中審議を、4月1日には地方創生・社会保障等に関する集中審議を、8日には国民生活・エネルギー・政治理念に関する集中審議を、9日には安倍内閣の基本姿勢に関する集中審議をそれぞれ行った。

また、3月26日には公聴会を開催し、4月6日及び7日には各委員会に審査を委嘱したほか、予備審査中の2月23日及び24日の2日間、滋賀県及び京都府に委員を派遣して現地調査を行った。

4月9日に締めくくり質疑を終了した後、討論及び採決の結果、可決された。

委員会の質疑においては、量的・質的金融緩和の効果と出口戦略、法人実効税率引下げの必要性、軽減税率及び給付付き税額控除の検討状況、財政健全化への取組、地方創生事業の内容と必要性、人口減少社会への対応、介護報酬減額の妥当性、GPIFの運用方針、農林水産物の輸出促進、原子力発電所再稼働の是非、復興・防災に向けた取組、危機管理体制の構築と国民保護法制の運用の在り方、訪日外国人旅行者への対応、集团的自衛権行使の可否と安全保障法制の在り方、在沖繩米軍基地移設問題、公共放送の在り方、政府の情報セキュリティ対策、政治資金をめぐる諸問題、女性の活躍推進等の問題が取り上げられた。

平成二十七年度暫定予算 平成二十七年度暫定予算3案は、3月27日に提出され、30日に成立した。

委員会では、30日に衆議院から送付の後、財務大臣の趣旨説明を聴取し、その後、質疑が行われ、可決された。

質疑では、暫定予算編成に至った経緯、消費税率引上げがGDPに与える影響、

量的・質的金融緩和の効果とリスク、辺野古沖における米軍基地移設作業問題、中小企業に対する金融支援対策等の問題が取り上げられた。

〔国政調査〕

予算の執行状況に関する調査を議題として、以下のとおり、委員会が開かれた。

2月5日、内政・外交の諸問題に関する集中審議が行われた。質疑においては、地方交付税の基準財政需要額算定の在り方、マクロ経済スライド実施に当たっての年金制度の考え方、消費税率引上げによる影響と経済対策の効果、東日本大震災からの復興状況、東京一極集中是正に向けた施策の在り方、情報収集の専門機関設置の必要性等の問題が取り上げられた。

会期延長後の**8月10日**、現下の政治課題について集中審議が行われた。質疑においては、地方創生のための新型交付金の在り方、年金情報漏えい問題への対応状況、TPPが中小企業や地方経済に与える影響、最低賃金引上げの効果と中小企業支援の必要性、高等教育に係る家計の負担軽減、表現の自由及び通信の秘密を踏まえたインターネット規制の在り方、新国立競技場の建設計画見直し等の問題が取り上げられた。

また、**8月24日**、内政・外交の諸問題に関する集中審議が行われた。質疑においては、地方及び低所得者への波及を重視した経済対策の必要性、物価安定目標が未達成である現状、日米新ガイドラインと専守防衛との関係、平成28年度沖縄振興予算の取扱い、子どもの臓器移植に関する実施体制、川内原発周辺における火山災害の可能性等の問題が取り上げられた。

(2) 委員会経過

○平成27年1月28日(水) (第1回)

- 理事の辞任を許可し、補欠選任を行った。
- 予算の執行状況に関する調査を行うことを決定した。

○平成二十六年度一般会計補正予算(第1号) (予)

平成二十六年度特別会計補正予算(特第1号)
(予)

平成二十六年度政府関係機関補正予算(機第1号)(予)

以上3案について麻生財務大臣から趣旨説明を聴いた。

○平成27年2月2日(月) (第2回)

— 総括質疑 —

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 参考人の出席を求めることを決定した。

○平成二十六年度一般会計補正予算(第1号) (衆議院送付)

平成二十六年度特別会計補正予算(特第1号)
(衆議院送付)

平成二十六年度政府関係機関補正予算(機第1号)(衆議院送付)

以上3案について安倍内閣総理大臣、岸田外務大臣、石破国務大臣、中谷防衛大臣、塩崎厚生労働大臣、麻生国務大臣、甘利国務大臣、宮沢経済産業大臣、太田国土交通大臣、高市総務大臣、下村国務大臣、山口国務大臣、菅内閣官房長官、西川農林水産大臣、竹下復興大臣、山谷国務大臣、望月環境大臣、有村内閣府特命担当大臣、中村参議院事務総長、杉本公正取引委員会委員長、政府参考人及び参考人日本銀行総裁黒田東彦君に対し質疑を行った。

[質疑者]

那谷屋正義君(民主)、石上俊雄君(民主)、
※大塚耕平君(民主)、愛知治郎君(自民)、
石井準一君(自民)、佐藤正久君(自民)

※関連質疑

○平成27年2月3日(火) (第3回)

— 総括質疑 —

○平成二十六年度一般会計補正予算(第1号) (衆議院送付)

平成二十六年度特別会計補正予算(特第1号)
(衆議院送付)

平成二十六年度政府関係機関補正予算(機第1号)(衆議院送付)

以上3案について安倍内閣総理大臣、望月環境大臣、山谷国務大臣、塩崎厚生労働大臣、麻生財務大臣、石破国務大臣、高市総務大臣、西川農林水産大臣、岸田外務大臣、甘利内閣府特命担当大臣、有村国務大臣、宮沢経済産業大臣、太田国土交通大臣、菅内閣官房長官、下村文部科学大臣、中谷防衛大臣、横畠内閣法制局長官及び政府参考人に対し質疑を行い、討論の後、いずれも可決した。

[質疑者]

横山信一君(公明)、清水貴之君(維新)、
小池晃君(共産)、井上義行君(元気)、山
田太郎君(元気)、和田政宗君(次代)、薬
師寺みちよ君(無ク)、福島みずほ君(社民)、
平野達男君(改革)

(平成二十六年度補正予算)

賛成会派 自民、公明、元気(一部)、次
代、改革

反対会派 民主、維新、共産、元気(一部)、
無ク、社民

○平成27年2月5日(木) (第4回)

— 集中審議(内政・外交の諸問題) —

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 予算の執行状況に関する調査のうち、内政・外交の諸問題に関する件について安倍内閣総理大臣、太田国土交通大臣、石破国務大臣、西川農林水産大臣、岸田外務大臣、下村文部科学大臣、中谷防衛大臣、塩崎厚生労働大臣、高市総務大臣、甘利内閣府特命担当大臣、麻

生財務大臣、望月環境大臣、宮沢経済産業大臣、竹下復興大臣、有村国務大臣、菅内閣官房長官、山谷国家公安委員会委員長、上川法務大臣、竹谷財務大臣政務官、横畠内閣法制局長官、政府参考人、参考人日本銀行総裁黒田東彦君及び東京電力株式会社代表執行役社長廣瀬直己君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

金子原二郎君（自民）、上野通子君（自民）、磯崎仁彦君（自民）、福山哲郎君（民主）、金子洋一君（民主）、若松謙維君（公明）、東徹君（維新）、仁比聡平君（共産）、松田公太君（元気）、松沢成文君（次代）、水野賢一君（無ク）、吉田忠智君（社民）、荒井広幸君（改革）

○平成27年2月18日（水）（第5回）

○平成二十七年度一般会計予算（予）

平成二十七年度特別会計予算（予）

平成二十七年度政府関係機関予算（予）

以上3案について麻生財務大臣から趣旨説明を聴いた。

○平成二十七年度総予算審査のため委員派遣を行うことを決定した。

○平成27年3月16日（月）（第6回）

— 基本的質疑 —

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○参考人の出席を求めることを決定した。

○平成二十七年度一般会計予算（衆議院送付）

平成二十七年度特別会計予算（衆議院送付）

平成二十七年度政府関係機関予算（衆議院送付）

以上3案について安倍内閣総理大臣、石破国務大臣、林農林水産大臣、塩崎厚生労働大臣、甘利内閣府特命担当大臣、宮沢経済産業大臣、高市総務大臣、下村文部科学大臣、太田国土交通大臣、有村内閣府特命担当大臣、麻生財務大臣、山谷内閣府特命担当大臣、岸田外務大臣、政府参考人及び参考人日本放送協会会長舛井勝人君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

羽田雄一郎君（民主）、※小川敏夫君（民主）、蓮舫君（民主）、伊達忠一君（自民）、

猪口邦子君（自民）、三原じゅん子君（自民）、江島潔君（自民） ※関連質疑

○平成27年3月17日（火）（第7回）

— 基本的質疑 —

○参考人の出席を求めることを決定した。

○平成二十七年度一般会計予算（衆議院送付）

○平成二十七年度特別会計予算（衆議院送付）

○平成二十七年度政府関係機関予算（衆議院送付）

以上3案について安倍内閣総理大臣、太田国土交通大臣、石破国務大臣、山谷国務大臣、塩崎厚生労働大臣、林農林水産大臣、有村内閣府特命担当大臣、麻生財務大臣、岸田外務大臣、上川法務大臣、菅内閣官房長官、高市総務大臣、望月国務大臣、中谷防衛大臣、甘利国務大臣、下村文部科学大臣、宮沢経済産業大臣、政府参考人、参考人東京電力株式会社代表執行役社長廣瀬直己君及び日本放送協会会長舛井勝人君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

江島潔君（自民）、西田実仁君（公明）、山本博司君（公明）、片山虎之助君（維新）、山下芳生君（共産）、井上義行君（元気）、行田邦子君（元気）、松沢成文君（次代）、中西健治君（無ク）、福島みずほ君（社民）、荒井広幸君（改革）

○派遣委員から報告を聴いた。

○平成27年3月18日（水）（第8回）

— 一般質疑 —

○参考人の出席を求めることを決定した。

○平成二十七年度一般会計予算（衆議院送付）

平成二十七年度特別会計予算（衆議院送付）

平成二十七年度政府関係機関予算（衆議院送付）

以上3案について安倍内閣総理大臣、岸田外務大臣、下村文部科学大臣、塩崎厚生労働大臣、山口国務大臣、中谷防衛大臣、菅内閣官房長官、麻生財務大臣、竹下復興大臣、宮沢経済産業大臣、山際経済産業副大臣、赤澤内閣府副大臣、福山環境大臣政務官、田中原子力規制委員会委員長、政府参考人及び参考人日本放送協会会長舛井勝人君に対し質疑を

行った。

〔質疑者〕

古賀友一郎君（自民）、田中直紀君（民主）、
※大久保勉君（民主）、荒木清寛君（公明）、
室井邦彦君（維新）、田村智子君（共産）、
山口和之君（元気）、江口克彦君（次代）、
薬師寺みちよ君（無ク）、又市征治君（社民）、
平野達男君（改革） ※関連質疑

○平成27年3月19日（木）（第9回）

— 一般質疑 —

- 平成二十七年度総予算審査のため公聴会開会承認要求書を提出することを決定した。
- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 平成二十七年度一般会計予算（衆議院送付）
平成二十七年度特別会計予算（衆議院送付）
平成二十七年度政府関係機関予算（衆議院送付）

以上3案について甘利国務大臣、下村文部科学大臣、石破国務大臣、太田国土交通大臣、麻生財務大臣、岸田外務大臣、上川法務大臣、宮沢経済産業大臣、塩崎厚生労働大臣、中谷防衛大臣、林農林水産大臣、山口内閣府特命担当大臣、山谷内閣府特命担当大臣、有村内閣府特命担当大臣、竹下復興大臣、小泉農林水産副大臣、西村（康）内閣府副大臣、田中原子力規制委員会委員長、政府参考人、最高裁判所当局、参考人日本放送協会経営委員会委員長浜田健一郎君及び日本銀行総裁黒田東彦君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

二之湯武史君（自民）、田城郁君（民主）、
水岡俊一君（民主）、横山信一君（公明）、
藤巻健史君（維新）、辰巳孝太郎君（共産）、
山田太郎君（元気）、浜田和幸君（次代）、
薬師寺みちよ君（無ク）、吉田忠智君（社民）、
平野達男君（改革）

○平成27年3月20日（金）（第10回）

— 集中審議（外交・安全保障等） —

- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 平成二十七年度一般会計予算（衆議院送付）
平成二十七年度特別会計予算（衆議院送付）
平成二十七年度政府関係機関予算（衆議院送付）

付）

以上3案について安倍内閣総理大臣、岸田外務大臣、中谷防衛大臣、山谷国務大臣、林農林水産大臣、下村文部科学大臣、望月環境大臣、上川法務大臣、西村国土交通副大臣、横畠内閣法制局長官、政府参考人及び参考人日本放送協会会長靱井勝人君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

山崎力君（自民）、中原八一君（自民）、小西洋之君（民主）、大塚耕平君（民主）、矢倉克夫君（公明）、真山勇一君（維新）、井上哲士君（共産）、田中茂君（元気）、浜田和幸君（次代）、水野賢一君（無ク）、福島みずほ君（社民）、荒井広幸君（改革）

○平成27年3月23日（月）（第11回）

— 一般質疑 —

- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 平成二十七年度一般会計予算（衆議院送付）
平成二十七年度特別会計予算（衆議院送付）
平成二十七年度政府関係機関予算（衆議院送付）

以上3案について下村文部科学大臣、岸田外務大臣、麻生財務大臣、中谷防衛大臣、高市総務大臣、甘利内閣府特命担当大臣、宮沢経済産業大臣、山谷国務大臣、竹下復興大臣、有村国務大臣、林農林水産大臣、塩崎厚生労働大臣、上川法務大臣、宮下財務副大臣、浜田復興副大臣、赤澤内閣府副大臣、藤井文部科学副大臣、横畠内閣法制局長官、政府参考人、最高裁判所当局及び参考人日本放送協会会長靱井勝人君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

大野元裕君（民主）、小川敏夫君（民主）、
那谷屋正義君（民主）、若松謙維君（公明）、
東徹君（維新）、吉良よし子君（共産）、
山口和之君（元気）、平野達男君（改革）

○平成27年3月24日（火）（第12回）

— 一般質疑 —

- 平成二十七年度一般会計予算（衆議院送付）
平成二十七年度特別会計予算（衆議院送付）
平成二十七年度政府関係機関予算（衆議院送付）

付)

以上3案について麻生財務大臣、塩崎厚生労働大臣、有村内閣府特命担当大臣、下村文部科学大臣、中谷防衛大臣、望月環境大臣、宮沢経済産業大臣、上川法務大臣、岸田外務大臣、林農林水産大臣、石破国務大臣、うえの国土交通大臣政務官、田中原子力規制委員会委員長及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

松沢成文君(次代)、薬師寺みちよ君(無ク)、福島みずほ君(社民)、高野光二郎君(自民)

○平成27年3月26日(木) (公聴会 第1回)

- 平成二十七年度一般会計予算(衆議院送付)
- 平成二十七年度特別会計予算(衆議院送付)
- 平成二十七年度政府関係機関予算(衆議院送付)

以上3案について次の公述人から意見を聴き質疑を行った。

〔公述人〕

一橋大学大学院法学研究科教授 秋山信将君

国際地政学研究所理事長

元内閣官房副長官補 柳澤協二君

日本大学経済学部准教授 川出真清君

東京大学社会科学研究所教授 大沢真理君

茨城県常陸大宮市長 三次真一郎君

公益財団法人地方自治総合研究所長 辻山幸宣君

- ・公述人(秋山信将君、柳澤協二君)に対する質疑(外交・安全保障)

〔質疑者〕

山下雄平君(自民)、藤田幸久君(民主)、矢倉克夫君(公明)、小野次郎君(維新)、井上哲士君(共産)、井上義行君(元氣)、松沢成文君(次代)、中西健治君(無ク)、福島みずほ君(社民)、平野達男君(改革)

- ・公述人(川出真清君、大沢真理君)に対する質疑(経済・財政・社会保障)

〔質疑者〕

石田昌宏君(自民)、那谷屋正義君(民主)、若松謙維君(公明)、清水貴之君(維新)、田村智子君(共産)、山田太郎君(元氣)、

松沢成文君(次代)、薬師寺みちよ君(無ク)、福島みずほ君(社民)、平野達男君(改革)

- ・公述人(三次真一郎君、辻山幸宣君)に対する質疑(地方創生)

〔質疑者〕

島村大君(自民)、小川敏夫君(民主)、横山信一君(公明)、柴田巧君(維新)、田村智子君(共産)、山田太郎君(元氣)、江口克彦君(次代)、薬師寺みちよ君(無ク)、福島みずほ君(社民)、平野達男君(改革)

○平成27年3月27日(金) (第13回)

— 集中審議(経済・財政・国際問題) —

- 平成二十七年度一般会計予算(衆議院送付)
- 平成二十七年度特別会計予算(衆議院送付)
- 平成二十七年度政府関係機関予算(衆議院送付)

以上3案について安倍内閣総理大臣、高市総務大臣、麻生国務大臣、太田国土交通大臣、甘利国務大臣、岸田外務大臣、菅内閣官房長官、下村文部科学大臣、宮沢経済産業大臣、塩崎厚生労働大臣、林農林水産大臣、山谷国家公安委員会委員長、有村国務大臣、望月内閣府特命担当大臣、竹下復興大臣、平内閣府副大臣、田中原子力規制委員会委員長及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

松下新平君(自民)、若林健太君(自民)、藤田幸久君(民主)、大久保勉君(民主)、長沢広明君(公明)、※杉久武君(公明)、小野次郎君(維新)、倉林明子君(共産)、山田太郎君(元氣)、中野正志君(次代)、中西健治君(無ク)、吉田忠智君(社民)、平野達男君(改革) ※関連質疑

○平成27年3月30日(月) (第14回)

— 総括質疑 —

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 平成二十七年度一般会計暫定予算(衆議院送付)
- 平成二十七年度特別会計暫定予算(衆議院送付)
- 平成二十七年度政府関係機関暫定予算(衆議院送付)

院送付)

以上3案について麻生財務大臣から趣旨説明を聴き、安倍内閣総理大臣、麻生国務大臣、甘利国務大臣、菅内閣官房長官、中谷防衛大臣、岸田外務大臣、太田国土交通大臣、林農林水産大臣、塩崎厚生労働大臣、山口内閣府特命担当大臣、政府参考人、参考人日本銀行総裁黒田東彦君及び日本放送協会経営委員会委員長浜田健一郎君に対し質疑を行った後、いずれも可決した。

[質疑者]

大塚耕平君(民主)、儀間光男君(維新)、仁比聡平君(共産)、山田太郎君(元気)、和田政宗君(次代)、薬師寺みちよ君(無ク)、福島みずほ君(社民)、荒井広幸君(改革)

(平成二十七年度暫定予算)

賛成会派 自民、民主、公明、維新、元気、次代、無ク、社民、改革

反対会派 共産

- 平成二十七年度一般会計予算(衆議院送付)
- 平成二十七年度特別会計予算(衆議院送付)
- 平成二十七年度政府関係機関予算(衆議院送付)

以上3案について沖縄及び北方問題に関する特別委員会、政府開発援助等に関する特別委員会、地方・消費者問題に関する特別委員会及び東日本大震災復興及び原子力問題特別委員会については4月6日の1日間、内閣委員会、総務委員会、法務委員会、外交防衛委員会、財政金融委員会、文教科学委員会、厚生労働委員会、農林水産委員会、経済産業委員会、国土交通委員会及び環境委員会については4月7日の1日間、当該委員会の所管に係る部分の審査を委嘱することを決定した。

○平成27年4月1日(水)(第15回)

— 集中審議(地方創生・社会保障等) —

- 参考人の出席をを求めることを決定した。
- 平成二十七年度一般会計予算(衆議院送付)
- 平成二十七年度特別会計予算(衆議院送付)
- 平成二十七年度政府関係機関予算(衆議院送付)

以上3案について安倍内閣総理大臣、塩崎厚生労働大臣、下村国務大臣、石破国務大臣、太田国土交通大臣、麻生財務大臣、上川法務大臣、林農林水産大臣、有村国務大臣、甘利内閣府特命担当大臣、岸田外務大臣、高市総務大臣、中谷防衛大臣、望月環境大臣、城内外務副大臣、小泉復興大臣政務官、政府参考人、参議院事務局当局、参考人日本銀行総裁黒田東彦君及び日本放送協会会長舛井勝人君に対し質疑を行った。

[質疑者]

末松信介君(自民)、福岡資麿君(自民)、藤本祐司君(民主)、森本真治君(民主)、新妻秀規君(公明)、寺田典城君(維新)、小池晃君(共産)、アントニオ猪木君(元気)、和田政宗君(次代)、渡辺美知太郎君(無ク)、福島みずほ君(社民)、平野達男君(改革)

○平成27年4月2日(木)(第16回)

— 一般質疑 —

- 参考人の出席をを求めることを決定した。
- 平成二十七年度一般会計予算(衆議院送付)
- 平成二十七年度特別会計予算(衆議院送付)
- 平成二十七年度政府関係機関予算(衆議院送付)

以上3案について下村文部科学大臣、山谷国務大臣、塩崎厚生労働大臣、菅内閣官房長官、高市総務大臣、宮沢経済産業大臣、岸田外務大臣、望月内閣府特命担当大臣、中谷防衛大臣、上川法務大臣、平内閣府副大臣、山本厚生労働副大臣、政府参考人、参考人日本放送協会会長舛井勝人君及び預金保険機構理事長三國谷勝範君に対し質疑を行った。

[質疑者]

長峯誠君(自民)、福山哲郎君(民主)、小川敏夫君(民主)、矢倉克夫君(公明)、横山信一君(公明)、川田龍平君(維新)、田村智子君(共産)、井上義行君(元気)、松沢成文君(次代)、薬師寺みちよ君(無ク)、又市征治君(社民)、平野達男君(改革)

○平成27年4月8日(水)(第17回)

— 集中審議(国民生活・エネルギー・政治理念) —

○各委員長からの委嘱審査報告書は、これを会議録に掲載することに決定した。

○参考人の出席を求めることを決定した。

○平成二十七年度一般会計予算（衆議院送付）
平成二十七年度特別会計予算（衆議院送付）
平成二十七年度政府関係機関予算（衆議院送付）

以上3案について安倍内閣総理大臣、山谷国務大臣、宮沢経済産業大臣、有村国務大臣、下村文部科学大臣、麻生財務大臣、塩崎厚生労働大臣、甘利国務大臣、林農林水産大臣、高市総務大臣、岸田外務大臣、石破国務大臣、菅内閣官房長官、中谷国務大臣、世耕内閣官房副長官及び参考人日本放送協会会長榎井勝人君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

堀内恒夫君（自民）、小川敏夫君（民主）、若松謙維君（公明）、室井邦彦君（維新）、紙智子君（共産）、松田公太君（元気）、江口克彦君（次代）、薬師寺みちよ君（無ク）、吉田忠智君（社民）、荒井広幸君（改革）

○平成27年4月9日（木）（第18回）

— 集中審議（安倍内閣の基本姿勢）・締めくくり質疑 —

○平成二十七年度一般会計予算（衆議院送付）
平成二十七年度特別会計予算（衆議院送付）
平成二十七年度政府関係機関予算（衆議院送付）

以上3案について安倍内閣総理大臣、麻生財務大臣、太田国土交通大臣、有村国務大臣、下村文部科学大臣、塩崎厚生労働大臣、宮沢経済産業大臣、上川法務大臣、林農林水産大臣、甘利内閣府特命担当大臣、岸田外務大臣、中谷国務大臣、山谷内閣府特命担当大臣、小泉内閣府大臣政務官、松本内閣府大臣政務官、向大野衆議院事務総長、中村参議院事務総長、横島内閣法制局長官及び政府参考人に対し質疑を行い、討論の後、いずれも可決した。

・集中審議

〔質疑者〕

古賀友一郎君（自民）、安井美沙子君（民主）、河野義博君（公明）、儀間光男君（維

新）、大門実紀史君（共産）、松田公太君（元気）、松沢成文君（次代）、薬師寺みちよ君（無ク）、福島みずほ君（社民）、平野達男君（改革）

・締めくくり質疑

〔質疑者〕

石井準一君（自民）、那谷屋正義君（民主）、横山信一君（公明）、川田龍平君（維新）、辰巳孝太郎君（共産）、山田太郎君（元気）、松沢成文君（次代）、水野賢一君（無ク）、福島みずほ君（社民）、荒井広幸君（改革）（平成二十七年度総予算）

賛成会派 自民、公明、元気（一部）、次代、改革

反対会派 民主、維新、共産、元気（一部）、無ク、社民

○平成27年8月10日（月）（第19回）

— 集中審議（現下の政治課題について） —

○理事の補欠選任を行った。

○参考人の出席を求めることを決定した。

○予算の執行状況に関する調査のうち、現下の政治課題について安倍内閣総理大臣、石破国務大臣、遠藤国務大臣、下村文部科学大臣、甘利国務大臣、麻生財務大臣、塩崎厚生労働大臣、宮沢経済産業大臣、中谷防衛大臣、山谷内閣府特命担当大臣、政府参考人、参考人独立行政法人日本スポーツ振興センター理事長河野一郎君、日本年金機構理事長水島藤一郎君及び日本放送協会会長榎井勝人君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

岡田広君（自民）、蓮舫君（民主）、谷合正明君（公明）、川田龍平君（維新）、紙智子君（共産）、井上義行君（元気）、山田太郎君（元気）、松沢成文君（次代）、薬師寺みちよ君（無ク）、福島みずほ君（社民）、荒井広幸君（改革）

○平成27年8月24日（月）（第20回）

— 集中審議（内政・外交の諸問題） —

○参考人の出席を求めることを決定した。

○予算の執行状況に関する調査のうち、内政・外交の諸問題に関する件について安倍内閣総

理大臣、岸田外務大臣、甘利内閣府特命担当大臣、太田国土交通大臣、中谷防衛大臣、塩崎厚生労働大臣、下村文部科学大臣、麻生財務大臣、林農林水産大臣、山口内閣府特命担当大臣、菅内閣官房長官、遠藤国務大臣、望月環境大臣、石破国務大臣、高市総務大臣、浜田復興副大臣、横畠内閣法制局長官、田中原子力規制委員会委員長、政府参考人、参考人年金積立金管理運用独立行政法人理事長三谷隆博君及び日本銀行総裁黒田東彦君に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

武見敬三君（自民）、岡田直樹君（自民）、小川敏夫君（民主）、那谷屋正義君（民主）、横山信一君（公明）、儀間光男君（維新）、山下芳生君（共産）、松田公太君（元気）、アントニオ猪木君（元気）、中野正志君（次代）、渡辺美知太郎君（無ク）、福島みずほ君（社民）、荒井広幸君（改革）

○平成27年9月25日（金）（第21回）

- 予算の執行状況に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。

委員派遣

○平成27年2月23日（月）、24日（火）

- 平成27年度総予算の審査に資するため

〔派遣地〕

滋賀県、京都府

〔派遣委員〕

岸宏一君（自民）、石井準一君（自民）、岡田広君（自民）、古賀友一郎君（自民）、馬場成志君（自民）、小川敏夫君（民主）、那谷屋正義君（民主）、若松謙維君（公明）、小野次郎君（維新）、大門実紀史君（共産）、井上義行君（元気）、松沢成文君（次代）、薬師寺みちよ君（無ク）、福島みずほ君（社民）、平野達男君（改革）